

**講演題目・分子科学討論会要旨集原稿
必要に応じて二行目**

¹名大院理, ²九大院理, ³東北大院工
○名古屋太郎¹, 福岡次郎¹, 仙台花子²

**Instructions for Preparation of Abstracts for Mol. Sci. Symposium
Second Line of Title if needed**

○Taro Nagoya¹, Jiro Fukuoka², Hanako Sendai²,
¹Department of Chemistry, Nagoya University, Japan,
²Department of Chemistry, Kyushu University, Japan
² Department of Applied Chemistry, Tohoku University, Japan

【Abstract】 Abstract in English (ca. 150 words).

【序】 分子科学討論会の講演要旨は、この書式に上書きして作成し、5Mb以下のPDF形式の電子ファイルとして提出してください。

1. 原稿の分量はA4判2ページとする。
2. マージンは上下左右ともに25 mmとする。
3. ページ番号は付さないこと。
4. 1ページ目の左上に講演番号を記載すること。
5. 演題, 所属, 著者名は日本語と英語を併記すること。
6. 要旨は150語程度の英語で作成すること。
7. 図表の表記, 図の脚注, 表の表題は英語で示すこと。図にはカラーを使用してよい。
8. 参考文献は角括弧[]付きの番号で表記し, 最後に**【参考文献】**リストを付ける。
9. フォーマットの詳細は下記のTable.1, 2を参照のこと。

Table 1. Font sizes to be used in the manuscript #, the title, the names of the authors, and *affiliations*.

	講演番号	演題(日)	所属・著者(日)	演題(英)	著者(英)	所属(英)
フォント	Helvetica	MS ゴシック	MS 明朝	Times New Roman		
サイズ	14	14	12	14	12	
スタイル	左寄せ	センタリング				
		太字		太字		イタリック

Table 2. Font sizes to be used in the abstract, the body text, references, figure captions, and table titles.

	Abstract	本文	文献	図の脚注 (英)	表の表題 (英)
フォント	Times New Roman	MS 明朝	Times New Roman / MS 明朝	Times New Roman	
サイズ	12		10		11
スタイル	両端揃え		左寄せ		

【方法 (実験・理論)】

【結果・考察】

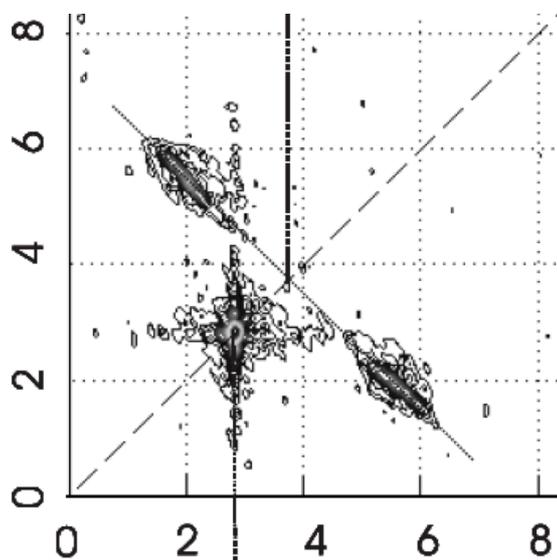


Fig. 1. Experimental Data.

【参考文献】

- [1] T. Nagoya *et al.* *Chem. Phys. Lett.* **123**, 456 (2018).
- [2] H. Sendai and T. Fukuoka, "Theory of X parameter", (John Wiley, New York, 2018), pp. 12-24.
- [3] 名古屋, 福岡, 仙台, 第2回分子科学討論会, 1P001 (2008).